## 令和5年度策定 桜木東校区社協行動計画書

## 桜木東校区社会福祉協議会

			小米仅区位版[J 数 il 画音			按小米仪区社云他加励 <u>截云</u>
基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み(条件づくり)	校区社協としての取組
明るい挨拶で安心安全 笑顔あふれる 健康で住み良い桜木東!!	支え合い助け合う 桜木東	高齢者	高齢者の孤立防止と社会参加	<ul><li>近くに気楽に集える場所や機会が少ない</li><li>コロナ禍の影響により外出機会が減少し体力維持が難しい</li><li>免許返納後の移動手段の確保が難しい</li></ul>	<ul> <li>・地域でのサロン、元気クラブなどの地域の通いの場の活用と周知</li> <li>・通いの場へのリハビリテーション職員の派遣を利用</li> <li>・各関係機関との情報交換の推進(高齢者等の情報共有)</li> <li>・ささえりああさひばと連携し、安全運転チェックの機会を設け、意識化を図る</li> <li>・地域支え合い型サービス(移送サービス)の活用</li> </ul>	<ul><li>・元気クラブやサロン活動等の情報提供の促進</li><li>・民児協やささえりあと連携して高齢者の情報交換を行う</li><li>・高齢者の特技を発掘し、地域活動に活かす(例:大工、読み聞かせ、昔伝承遊び等)</li></ul>
			若年性を含む認知症に対する理解	<ul><li>個人情報の問題で情報把握が難しい</li><li>若年性を含む認知症に対する知識や理解が乏しい</li></ul>	<ul><li>・認知症サポーター養成講座の活用(認知症の理解を深める)</li><li>・認知症声掛け訓練の実施</li><li>・相談機関(高齢者支援センターささえりあ)の周知</li></ul>	<ul><li>ささえりあと連携して認知症に関する勉強会の企画</li><li>熊本市認知症高齢者等見守りSOSネットワーク事業の周知を図る</li></ul>
		障がい児・者	障がい児・者に対する理解	<ul><li>・障がいに対する知識が乏しく、接し方が難しい</li><li>・個人情報の問題があり、情報の把握が難しい</li><li>・公的機関以外に気楽に相談できる場所の情報が乏しい</li></ul>	<ul><li>相談支援事業所など関係機関との連携、情報共有を行う。</li><li>障がい者サポーター養成講座の活用(障がいの理解を深める)</li><li>相談機関の周知</li></ul>	<ul><li>支援センターと連携して障がいに関する研修会の企画</li><li>「ふくしのしおり」を活用して各種相談窓口の周知を図る</li></ul>
	明るく元気な	子ども	子ども、子育ての孤立貧困問題	<ul><li>家庭の情報把握が難しい</li><li>共働き、ひとり親家庭の放課後の児童の居場所がない</li></ul>	<ul><li>学校や各関係機関と連携し、情報共有を図る</li><li>児童育成クラブの周知</li><li>地域食堂(子ども食堂)の周知</li></ul>	<ul><li>・桜木東食堂「陽だまり」の周知、充実を図る</li><li>・地域食堂を通して課題を発見し、各関係機関や学校と情報共有を図る</li></ul>
	後、桜木東っ子		子どもの人権(虐待・引きこもり・いじめ・ 不登校に関すること)	<ul><li>・虐待、引きこもり、いじめ、不登校など外部から見つけることが難しい</li><li>・引きこもりの人達が集まれる場所、悩みを相談できる場所の情報が乏しい</li></ul>	<ul><li>学校や各関係機関と連携し、情報共有を図る</li><li>相談機関の周知</li></ul>	(意見交換会を計画する)
	協力し助け合いで(桜木東防災	災害•:	災害時の避難体制づくり	<ul><li>・災害に対する意識が低い</li><li>・要配慮者の情報共有が難しい</li><li>・避難訓練ができていないので、大きな災害が起きた時の避難に不安がある</li></ul>	<ul> <li>指定避難所の周知(桜木東小学校、桜木中学校)</li> <li>各関係機関との連携を図り、要配慮者の情報を共有する</li> <li>災害時要援護者名簿の活用</li> <li>避難訓練への住民参加を呼びかける</li> <li>町内行事等を通して近所と顔の見える関係づくり</li> </ul>	<ul><li>防災連絡協議会や自治会と連携し、 避難訓練への参加と協力を行う</li><li>上記団体と連携し、避難所の周知 への協力</li></ul>
		斯 第 1	平常時における災害の備え	<ul><li>家庭内の備蓄品の確保ができていない</li><li>避難経路の危険箇所が把握できていない</li></ul>	<ul><li>町内の防災啓発(日頃からの災害用物品の備蓄を呼びかける)</li><li>避難経路の危険個所の確認と周知</li><li>防災に関する勉強会の開催</li></ul>	<ul><li>家庭内備蓄品の呼びかけ</li><li>校区内の企業との協力体制をつくる</li><li>防災に関する勉強会の企画</li></ul>
	みんなでキレイな 桜木東	その他(地域が抱える課題)	環境と治安	<ul><li>ゴミルールが守られていない</li><li>ゴミがカラス等に荒らされて不衛生である</li><li>大雨時、冠水するところがある</li><li>通学路に交通表示が少ない所がある(速度、徐行、一時停止等)</li></ul>	<ul><li>ゴミ出しルールの周知徹底</li><li>町内毎で冠水箇所の確認と周知</li><li>交通表示がない箇所は、警察などの関係機関へ情報提供を行う</li></ul>	<ul><li>自治会と協力してゴミ出しルールを 周知し、住民へ意識づけを図る</li><li>交通安全協会と情報共有を図る</li><li>生活便利帳の作成</li></ul>
			地域団体活動に関すること	<ul><li>地域団体役員の成り手がいない</li><li>地域団体の各活動内容が伝わりにくい</li><li>若い年代の参加が難しい</li></ul>	<ul><li>・地域団体の活動内容を周知する</li><li>・行事等に若い世代の参加を呼びかける</li></ul>	<ul><li>地域行事活動を若い世代へ周知、継承する(PTA、子ども会との協力)</li><li>広報誌を活用して地域団体活動の周知を図る</li><li>地域団体と協力して多世代交流行事を促進する</li></ul>